

議事概要記録

開催日時	令和8年4月11日(土) 13:00~15:00		開催場所	済生会和歌山病院7階 多目的ホール
会議種別	令和8年度 第1回理事会		議長	神藤 洋次
			書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、栗林 伴有、大前 嘉良、丸澤 佳子、久保 光史、 山本 須美子、森下 陽子、中尾 光孝、葛原 和紀、橋本 安貴子、 稲葉 芙佐、小山 明日美、松下 裕、関根 敏勝、竹家 正人、亀井 聡、 竹中 正人 <p style="text-align: right;">計 22 名</p>			
欠席者 <敬称略>	山中 拓哉、藤谷 泰明	オブザーバー	口広 智一、磯貝 好美、伊庭 信幸、八嶋 満友	
次 第				
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 日臨技報告 3. 常務理事会報告 4. 事務局報告 5. 学術部報告 6. 経理部報告 7. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 8. 第44回和歌山県医学検査学会 9. その他 予定表について <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度総会議案書準備 ・第45回和歌山県医学検査学会 担当者について ・会報でのSNS活用について 			

報告事項

決議事項
及び
継続事項

1. 会長報告

和臨技・日臨技・渉外関連について以下のとおり報告あり。

和臨技・日臨技関連

1月23日 日臨技賀詞交歓会 都市センターホテル

3月26日 日臨技品質保証施設認証制度 審査開始 JAMTQC

渉外関連

2月9日 第31回和歌山県病院協会学術大会企画運営委員会
(第1回) フォルテワジマ

3月11日 知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との
懇談会
アバローム紀の国

3月23日 令和7年度和歌山県災害医療対策会議 Web

その他

1月19日 日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 (日技連) Web

1月24日 令和8年日本臨床検査技師連盟執行委員会 (日技連)
日臨技会館

2月16日 日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 (日技連) Web

3月16日 日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 (日技連) Web

2. 日臨技報告

栗林副会長/日臨技理事より報告

日臨技関連

1月25日 日臨技理事会 (第5回) 日臨技会館

【報告】

●学会スケジュール

2026年9月5・6日 第65回日臨技近畿支部医学検査学会
奈良県主催

2026年9月26・27日 第75回日本医学検査学会 青森県主催
千葉幕張メッセ

2026年9月23～27日 第36回世界医学検査学会 (IFBLS)
千葉幕張メッセ

2027年5月22・23日 第76回日本医学検査学会 長崎県主催
出島メッセ
2028年5月13・14日 第77回日本医学検査学会 京都府主催
国立京都国際会館

●臨地実習生受入れに関する周知ポスターについて、厚生労働省より承認を取得した。

【議題】

●年会費優遇制度の新設について

提案の背景

1. 日臨技機能強化検討WGからの提案

令和6年4月13日付で当該WGから前会長宛に提出された報告書において、下記のとおり提案があった。

(提案) 年会費総額への影響を踏まえ、シニア会員(名称は要検討)として対象とする年齢及び会員歴について検討のうえ、該当者へ案内を送り入会を促す。移行時の会費の無料化及び減額、共済制度の適用、シニア会員が有する技術や経験の伝承について検討する場を設ける。

2. 組織運営委員会での検討

令和7年8月19日および9月6日の組織運営委員会において、上記提案について検討がされた。検討の結果、今回の提案に至る。

(検討結果) 「年会費優遇制度」を新設する。本制度の対象条件は、当該年度の4月1日現在において満65歳以上である会員かつ当該年度において永年職務精励賞を受賞済みまたは受賞予定の会員とする。また、対象者の年会費は4月1日現在において満65～69歳の者は5,000円、満70歳以上の者は3,000円とする。

※参考 永年職務精励賞の対象：表彰を受ける年の4月1日(基準日)をもって満50歳以上、かつ通算25年以上この法人の正会員である者。

本制度の意義

定年後は現場を離れ収入も減るため、それと同時に退会される方は多い(参考資料①②)。現

役を退いた会員が継続しやすい環境を整備するため、本制度を設けた。会員本人は定年後も共済制度の適用により臨床検査技師の仕事が継続しやすくなり、また、当会としても災害時に人員が集めやすくなるなどの効果が期待される。

本制度の創設後、退会の抑制効果(会員継続)が想定される。また、本制度の対象年齢となる方の再入会も期待できる。

対象条件について

現在多くの人が 65 歳で定年することから、対象は満 65 歳になった年の翌年度以降の会員（4 月 1 日に 65 歳となる者も含む。）とし、年齢別に分け 2 段階で金額設定をしたい。また、長年継続されている会員へ還元することもふまえ、永年職務精励賞を受賞済みであることも対象条件としたい。

適用初年度の金額想定

本制度の創設翌年度（令和 9 年度予定）の会費収入は、最大 865 万円程度減少する。

●添付ファイル付きメールの添付ファイルとメールを分離する対応（脱 PPAP）について

同一経路、同一アドレスからのメールの場合、盗聴できれば両方のメールを取得するのは容易
情報セキュリティ対策としてセキュリティーサービスをキヤノン社から購入することとなった。

※PPAP メールとは、パスワード付き ZIP ファイルをメールで送り、そのパスワードを別のメールで送るファイル共有方法です。

3 月 28 日 日臨技理事会（第 6 回） 日臨技会館

【報告】

●令和 7 年度 日臨技生涯教育推進研修会 都道府県別一覧表 2 月 28 日現在

和歌山研修会件数 20 件 日臨技より補助金 871,000 円

●臨地実習指導者講習会の修了者数 和歌山県 計 17 名 橋本市民病院 3 名 公立那賀病院 1 名 和歌山労災病院 2 名 和歌山県立医科大学附属病院 3 名 日本赤十字社和歌山医療センター 2 名 新宮市立医療センター 1 名 済生会和歌山病院 4 名

●次世代人材育成プロジェクト研修会

時期は明確ではないが、一泊研修会を開催企画書（案）が出来上がっている。

●令和 7 年度 2 月現在 正会員数 71541 名

【議題】

●「臨床検査技師教育 臨地実習ガイドライン 2021」 改訂となる

●一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 令和年度理事候補者一部抜粋

近畿	24	猿木 邦之	福井赤十字病院
	25	藤村 博和	滋賀医科大学医学部附属病院
	26	園田 真之	公益財団法人 丹後中央病院
	27	高田 厚照	関西医科大学くずは病院
	28	松田 武史	社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院
	29	倉田 主税	奈良県立医科大学附属病院
	30	栗林 伴有	日本赤十字社和歌山医療センター

会長候補者及び会長候補者推薦	48	奥沢 悦子	八戸市立市民病院
	49	佐藤伊都子	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院
	50	實原 正明	飯田市立病院
	51	滝野 寿	特定非営利活動法人 つくば臨床検査教育・研究センター
	52	徳弘 慎治	高知大学医学部附属病院
	53	益田 泰蔵	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
	54	丸田 秀夫	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
	55	三澤 成毅	順天堂大学 浦安・日の出キャンパス
	56	長沢 光章	国際医療福祉大学

【その他】

●創立 75 周年・設立 65 周年記念事業の会場等について

令和 9 年 7 月 17 日をもって創立 75 周年、同年 12 月 21 日をもって設立（法人化）65 周年を迎える。現時点で令和 10 年 3 月の開催とし、次の日程で会場を仮押さえしている。

日 程：令和 10 年 3 月 24 日（金）午後からを予定

※翌日 25 日（土）の理事会は、日臨技会館での開催を想定

行 事 内 容：記念式典、記念講演会、記念祝賀会を予定

会 場：都市センターホテル「コスモスホール」「オリオン」等

●令和 8 年度都道府県技師会との関連事業について

1. 日臨技生涯教育研修制度

都道府県技師会開催生涯教育推進研修会への助成

2. 全国「検査と健康展」の開催

3. 人財育成研修会

支部単位での開催、参加者に対する交通費は日臨技が負担

4. 災害関連

JIMTEF「災害医療研修ベーシックコース（初 級研修）

5. 総会議決権行使促進支援

6. その他

「学生フォーラム」と「中高生進路支援ガイダンス」の開催

●令和 8 年度組織図について

山寺副会長より

臨床検査総合部門では、学術組織内における代表者の選出は行っておりませんが、現時点では部門内に残しております。

今後は、より活動しやすい環境を整備する考えのもと、新組織である支部運営委員会の「臨床検査総合部門のあり方 WG」において、今後のあり方を検討していただく予定です。その方向性が決定した後、学術組織の内規を改正し、新たな組織のもとで活動を開始することとなります。

「議題」資料 No.45 令和 8 年度組織図及び事業計画について

支部学術部門

生物化学分析部門

臨床一般部門

臨床血液部門

臨床微生物部門

輸血細胞治療部門

病理細胞部門

遺伝子・染色体部門

神経生理部門

循環・呼吸生理部門

画像・超音波部門

臨床検査総合部門

計 11 部門

3. 常務理事会報告

●学術部 勉強会費徴収の進捗について

今年度からの勉強会会費徴収に関して、学術部内での運用及び和臨技会員への周知内容について確認を行った。

その上で、以下を決定。

- ・勉強会参加費：日臨技会員 500 円、非会員 1,000 円
- ・参加費徴収方法：電子チケット Teket にて運用

尚、班員の参加費の取り扱いならびに、実務委員費の支払い運用については、改めて学術部内での意見を確認の上、最終検討を行うことで一致。

まずは、以上の決定事項・検討事項も含め、学術部内（副学術・班長等）で共有、意見集約を行う。

以上の確認がとれた上で、決定事項については会員への周知文書を郵送及び会員一斉メールにて周知することで一致。

●総会議案書について

事前確認頂いた議案書について、再度追加修正がないか確認。

最終、和臨技永年表彰者人数については確認中であるが、本内容について次回の理事会にて確認することで一致。次回理事会資料と共に配信。

●理事役割分担

新年度役員立候補者の役割分担について確認。
事務局業務について、将来的な事も見据え、業務分担できないか検討することで一致。

●オリエンテーション

4月11日(土)開催の令和8年度和臨技オリエンテーションの開催予定について確認。

日時：令和8年4月11日(土) 15:30~18:00

会場：済生会和歌山病院 7階 講堂

15:30~ 司会：久保事務局長

○組織(和臨技・日臨技・日技連)、公益事業について：

田中会長/栗林副会長

○渉外活動について：神藤副会長

○会員登録・会費納入、会員のための補償制度について：久保事務局長

-----休憩-----

17:00~司会：大前学術部長

○学術活動について：大前学術部長

○学術部ミニレクチャー

生物化学分析班：「臨床化学について」

河西 輝英 技師(日本赤十字社和歌山医療センター)

病理・細胞検査班：「診断につなげる病理検査」

阪田 幸範 技師(日本赤十字社和歌山医療センター)

●その他

・和歌山県保健医療福祉調整本部登録者名簿及び連絡先の更新について常務理事(神藤副会長、大前学術部長、久保事務局長)で更新することで一致。

・理事会スケジュールについて
別紙年間予定表を確認。追加として、学術部勉強会の予定についてもわかる範囲で情報を集めて、予定表内に組み込むことで一致。

4. 事務局報告

1月29日 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2026 わかやま」

後援名義について

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2026

わかやま実行委員会

2月5日 インボイス制度に関する相談窓口一覧の更新について

日臨技

3月4日	女性活躍推進法関係に係る周知への御協力について	日臨技
3月6日	診療報酬改定に伴う説明会の開催について	日臨技
3月13日	再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づき再生医療等を提供するにあたり医療機関が留意すべき事項について（注意喚起）	日臨技
3月14日	令和8年度和臨技オリエンテーション開催案内	和臨技
3月25日	臨床検査室の品質と能力に係る日本産業規格（JIS）の制定について	日臨技
3月30日	和歌山県保健医療福祉調整本部登録者名簿及び連絡先の更新について	和歌山県
3月31日	VPN 装置等のネットワーク機器におけるサイバーセキュリティ対策の徹底について	日臨技
3月31日	「細胞検査士養成講座」後援名義	和歌山県細胞士会
4月1日	第31回和歌山県病院協会学術大会 演題募集について	和歌山県病院協会
4月1日	医療法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項等について	日臨技
4月1日	「ヒトES細胞の使用に関する指針」及び「ヒトiPS細胞又はヒト組織幹細胞からの生殖細胞の作成を行う研究に関する指針」等の一部改正についての通知	日臨技
4月1日	令和8年度災害支援人材育成のためのJIMTEF 災害医療研修ベーシックコースの受講に関して	日臨技
4月1日	第86回通常総会の特別講演ならびに懇親会のご案内	和歌山県病院協会
4月10日	次世代人財育成プロジェクト研修会『JAMT ステップアップ・フォーラム「めぶく」～つながる、語る、未来を創る～』の開催について（受講者の推薦依頼）	日臨技

4月10日 令和8年度大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に向けた和歌山県全体会議（第1回）の開催について
和歌山県

以上について報告。

その他

●済生会和歌山病院 外部団体等の病院施設使用に関する規程について

使用施設（1時間につき）			外部団体（職員）	一般（製薬会社等）
本館	7階	講堂	600円	2,000円
	7階	多目的ホール	600円	2,000円
北館	2階	会議室	400円	1,000円
	3階	会議室	400円	1,000円

- 1.使用料は、応当日の間で使用時間に関係ないものとする。
- 2.複数部屋を利用する際は、使用する部屋の使用料金の合計金額とする。
- 3.使用料金は、1時間単位での請求とする。

●次世代人財育成プロジェクト研修会

『JAMT ステップアップ・フォーラム「めぶく」～つながる、語る、未来を創る～』

（参加資格）対象年齢：20代～40代 / 1都道府県技師会あたり2～3名
（近畿支部会場）兵庫県臨床検査技師会研修センター

（開催日）6月20日（土）～6月21日（日）

- ・受講者の宿泊手配については、受講者各自で手配
- ・参加申し込み締め切り：2026年5月27日（水）

以上について、まずは理事会内で参加者を募ることで一致。

●令和8年度大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に向けた和歌山県全体会議（第1回）への参加

参加申し込み締め切り 2026年5月1日（金）

近日中に常務理事、災害担当理事より参加者を募ることで一致。

●令和8年度災害支援人材育成のための JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースの受講に関して

推薦期限

第21回（7月1日-7月31日開催）は6月11日（木）まで

第22回（10月1日-10月31日開催）は9月10日（木）まで

例年通り理事、災害対策委員を中心により参加者を募ることで一致。

5. 学術部報告

大前学術部長より報告

日臨技 生涯教育研修助成金申請 2026/2/16 現在(和歌山県)

	行事名	開催日時	行事形態	開催場所	生涯教育教科	生涯教育科目	参加登録数
1	令和7年度第1回血液検査班研修会	2025/4/26	現地開催	和歌山県立医科大学 地域医療支援センター (現地開催のみ)	専門	検体検査	22
2	令和7年度 第1回輸血検査班研修会	2025/6/12	WEB開催	WEB	専門	検体検査	19
3	第1回微生物班研修会	2025/6/14	現地+WEB開催	済生会和歌山病院 7階 講堂+WEB開催のハイブリッド開催	専門	検体検査	27
4	令和7年度 第1回病理細胞班研修会	2025/6/18	WEB開催	WEB	専門	検体検査	42
5	令和7年度 第1回生理検査班研修会	2025/7/24	WEB開催	WEB	専門	生体検査	42
6	令和7年度 一般検査班 第1回研修会	2025/7/31	WEB開催	WEB	専門	検体検査	25
7	令和7年度第2回生理検査班研修会	2025/8/17	現地開催	和歌山県立医科大学 紀南キャンパス 臨床研修センター 3階 (生涯教育室)	専門	生体検査	17
8	令和7年度 第2回血液検査班研修会	2025/8/30	現地	和歌山県立医科大学附属病院	専門	検体検査	28
9	令和7年度 第2回病理細胞班研修会	2025/8/30	現地	和歌山県立医科大学附属病院	専門	検体検査	28
10	令和7年度 第2回輸血検査班研修会	2025/9/4	WEB	WEB	専門	検体検査	33
11	第2回微生物班研修会	2025/9/6	現地	済生会和歌山病院 7階 講堂	専門	検体検査	27
12	令和7年度 第3回輸血検査班研修会 (実技)	2025/9/23	現地	和歌山県立医科大学 臨床技術研修センター (高度医療人育成センター2階)	専門	検体検査	11
13	和臨技 災害フォーラム2025	2025/12/6	現地	済生会和歌山病院 7階 講堂	基礎	その他	21
14	令和7年度 一般検査班 第2回研修会	2025/12/13	現地	和歌山県立医科大学附属病院 3F中央検査部技術控室	専門	検体検査	12
15	第3回微生物班研修会	2025/12/20	現地	済生会和歌山病院 7階 講堂	専門	検体検査	26
16	令和7年度 第3回血液検査班研修会	2025/12/23	WEB開催	WEB	専門	検体検査	49
17	令和7年度 第4回輸血検査班研修会	2026/1/15	WEB開催	WEB	専門	検体検査	43
18	第1回総合管理班研修会	2026/1/17	WEB開催	WEB	基礎教養	基礎教養	20
19	令和7年度 第3回病理細胞班研修会	2026/1/24	現地	日本赤十字社和歌山医療センター	専門	検体検査	28
20	令和7年度(第3回)和歌山県臨床検査技師会 臨床検査助成金申請報告会	2026/1/31	現地	紀南文化会館 研修室1・2・3	基礎教養	管理運営	59

今年度の助成金合計 871,000 円

助成金獲得率 67.75% (開催回数 20 回、参加者 40 名以上であったとした場合の獲得率)

【会長賞】

和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 鈴木 誠也 技師

会誌和臨技第 53 巻 2026 年 3 月

「多項目自動血球分析装置 XR-1000 における低値白血球モードの評価」

【学術奨励賞】

日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 阪田 幸範 技師

第 44 回和歌山県医学検査学会発表

「気管支擦過細胞診における CYFRA/CEA 比を用いた組織型推定の有用性について」

【新人賞】

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部 森本 琉生 技師

第 44 回和歌山県医学検査学会発表

「心電図自動解析の限界」

6. 経理部報告

丸澤経理部長より報告

・令和7年度決算報告書について、近日中に完成予定。完成次第に監事へ監査依頼の予定。

7. 各種委員会報告

① 公益事業活動

橋本理事より報告

令和8年度 全国「検査と健康展」現状、進捗報告はなし。

② 定款・渉外

神藤副会長より報告

・総会議決権行使書の見直しについて
→役員選任に関する部分について、議決権行使書の見直し意見があったが、今年度については従来の様式で実施することで一致。

③ 災害対策委員会

松下理事より報告

●第2回災害対策委員会を開催。

【日時】 2026年2月4日(水) 18:00~18:30

【場所】 Web開催(Zoom)

●ボランティア活動ができる技師の育成講習会について(別紙2)

【日時】 2026年2月8日(日) 14:00~17:00

【場所】 済生会和歌山病院 7F多目的ホール

【内容】 避難所運営ゲーム HUG

※最大級寒波による降雪の影響を考慮し開催を中止いたしました

●日臨技からの都道府県行政との災害協定の締結に向けた調整状況、災害マニュアルの整備状況等についての調査への協力

1 都道府県行政との災害時支援協定の締結に向けた調整状況は以下のいずれでしょうか？

②連絡を取り始め、調整が開始されました。

2 臨床検査薬卸連合会との災害時支援協定の締結に向けた調整状況は以下のいずれでしょうか？

②連絡を取り始め、調整が開始されました。

3 貴会の災害時支援マニュアルの整備状況は以下のいずれでしょうか？

②マニュアルの作成は完了しました。(日臨技の規程・マニュアル改定内容に合わせた見直しは未対応)

●令和8年度行事について

和臨技災害フォーラム 2026

【日時】2026年12月上旬（未定）

【講師】（未定）

ボランティア活動ができる技師の育成講習会

【日時】2027年2月上旬（未定）

学術部合同研修会において、避難所運営ゲーム HUG の開催を準備中。
現在担当委員について調整中である。

④精度管理委員会

中尾理事より報告

●R8年度事業進捗報告

以下スケジュールにて事業を行う。

令和8年度（第39回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査 年間予定表	
日程	内容
6/2（火）	募集要項HPへ掲載
6/23（火）	申し込み開始
7/9（木）	申し込み期限
8/17（月）	試料到着（手引書・フォト集JAMTQCシステム公開）
8/17（月）～8/28（金）	調査期間
8/28（金）	各施設からの結果入力期限
11/4（水）	精度管理調査願い各施設発行+施設別報告書、総括統計 JAMTQCシステムUP
11/18（水）	精度管理調査願い回収期限
2/3（水）	報告書公開（JAMTQCシステム、和臨技HP）
2/20（土）和歌山県臨床検査学会前日	精度管理報告会

- ・4/1～ 各部門にて JAMTQC システム設定を開始している。
- ・募集要項も平行して作成中。内容は R7 年度と大きく変更する予定はなく、現在各部門ねらいの文書を確認中。（参考までに現時点での作成書類を次ページ以降に提示）
- ・報告書の理事会査読期間は R9/1/12（火）～1/26(火)にて設定している。
- ・例年通り、後援名義について事務局へ依頼済み。

⑤会誌編集

小山理事より報告

会誌和臨技第 53 巻令和 8 年 3 月 490 部発行、決算書について報告。

⑥ ホームページ

山本理事、森下理事より新規 HP に関して報告

	現在	新規
レンタルサーバー	ホープムードメインのおうち	さくらインターネット ビジネス
料金	22000 円/1 年 (約 1833 円/月)	29040 円/1 年 (2420 円/月) ★3 年一括払いだと 71280 円/3 年 (1980 円/月)
容量	100MB	600GB
作成方法	ホームページビルダー FTP ソフトでアップロード	WordPress で作成
管理方法	個人の PC にて管理 (管理人は基本 1 名)	Web にログインして管理 (複数管理人可能)

- ・試作 HP について、理事にも確認頂き意見を集めることで一致。今月中に森下理事まで意見報告とする。
- ・田中会長より、現行ページのアドレスを引き継がないかとの意見あり。改めて、レンタルサーバー側に確認することで一致。
- ・新規 HP であれば、会員専用ページや役員専用ページについても作成可能。専用ページのパスワード設定の詳細についても改めて確認。

⑦ 会報

葛原理事より報告

●会報 No.81 発行について

- ・3月19日入稿 3月24日ラクスルより配送完了
- ・4月2日 山本理事へホームページへのアップロード依頼

●令和7年度 会報発行実績報告

- ・令和7年7月 会報 No.80 発行
- ・令和8年3月 会報 No.81 発行

●会報発行についての提言 (SNS の活用について)

紙ベースでの発行のデメリット

- ・ある程度、事業の蓄積を待って編集に取り掛かる必要があり、タイムリーに会員へ伝えることができない。
- ・写真撮影と写真の調整に時間と技巧が必要になるため、負担あり。
- ・寄稿文などは簡潔にまとめることに向いていないため、編集のために負担をかけている。
- ・コスト、労力負担が大きい

SNS 発信のメリットについて (Insta など SNS 活用の検討?)

- ・タイムリーに会員へ事業内容を伝えることができる。
- ・昨今、SNS での発信とアクセスの敷居が低くなっている。
- ・SNS 発信は紙発行に比べコスト・労力で優位性あり。
- ・編集が簡易に済む

SNS 発信のデメリットについて

- ・個人情報取扱の問題
- ・会員全員が SNS にアクセスしていない
- ・Insta は法人契約では公開が原則である (非公開での発信ができない)

以上踏まえた上で、ご審議いただきたい。

- ・本日の審議事項へ追加することで一致。

⑧ 月例行事予定表

稲葉理事より報告

・先日の、会誌発送の際に郵送手段の違い (レターパック及び封筒普通郵便) により、施設への到着日に差が発生して混乱を招く結果となった。次回発送の際には、統一した到着ができるように対応する。

・久保事務局長より、郵送手段の違いについては費用負担を考えると実施せざるを得ないとする。統一方法を検討するのではなく、発送時に到着予定が前後する旨について、会員へ案内周知することで解決できると考える。

8. 第 44 回和歌山県医学検査学会報告

大前学会長より決算報告をもとに報告

開催日時：2026 年 2 月 1 日 (日)

会場：紀南文化会館 小ホール

テーマ「技術の継承と発展『臨床検査技師の未来』－Well Being－」

(特別講演)

講演案：「私が医療人になって早く気付きたかったこと」

候補：小谷 敦志 様 (近畿大学奈良病院 臨床検査部)

(奈良臨技 副会長)

演題発表 (11 題)

企業プレゼンテーション (ランチョンセミナー 1 題)

実務委員数：19 名 (実行委員 9 名 実務委員 10 名)

参加者数：120 名 (実行委員、実務委員、賛助会員を含む)

9. その他

●予定表について

事務局より、年間予定表について再度共有。

今後、学術部の各勉強会予定の概要についても追加予定の旨報告あり。

審議事項

●会報発行についての提言（SNS の活用について）

・他府県技師会でも SNS を活用されている技師会もあり、当会としても前向きに検討して良いのではないかと。

・技師会の SNS として利用するのであれば、スマートフォン自体やアプリは個人持ちとするのか？法人契約として使用するのか？

→法人契約が必要か、可能かも含め確認が必要。

まずは、理事内で試験運用してみて確認。利用可能であれば随時拡大していき、最終的には SNS に 1 本化できればと考える。

・担当は会報担当理事が行うのか、それ以外にも担当者を募るのか。

→まずは、会報担当理事が運用することで考えている。和臨技 HP とリンクを貼ることにより、詳細については HP で確認などの案内が可能。

・会報作成にかかる労力についても提案されているが、SNS 配信となればかなりこまめな作業が必要になると考えるがその点については？

→2 ヶ月に一度くらいのペースをイメージしている。

・紙面作成の場合は、やはりレイアウトなど紙面内を埋める作業が必要となり、掲載文章を増やすなどの調整が必要になるが、SNS であれば短文で掲載可能である。

・会報の紙面発行については、和臨技事業活動の確認においても意味のあるものである。特に、周年式典など活動を遡る際の重要な資料となる点も考慮頂きたい。（例えば、年 1 回は紙面発行するなど）

・Instagram などの活用対象はやはり一般の方になるとも考える。会報の発信対象が会員限定であれば、現状の会員メーリングリストや HP を活用することで対応は可能か？担当者の負担軽減を考えると利用価値は高いのか？

活用方法ならびにその効果も含め継続審議とすることで一致。

●令和 8 年度定時総会議案書作成について

誤字、脱字を含め紙面内容を確認。

修正版を事務局より後日再送することで一致。

●第 45 回和歌山県医学検査学会担当について

学会長 田中会長

実行委員長 久保事務局長

担当病院として労災病院、済生会和歌山病院、河西田村病院

以上の提案について審議の結果、全会一致。

記録作成	令和 8 年 4 月 19 日	氏名	久保 光史	提出	令和 8 年 4 月 19 日
------	-----------------	----	-------	----	-----------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可